

認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業

# 最終報告書

一般社団法人セーフティネットリンケージ

2021年3月19日

## 目次

実地調査について.....	2
全体としての結論.....	2
●実地調査 I モックに対するヒアリング .....	3
当事者への調査.....	3
ご家族への調査.....	5
支援団体への調査.....	8
●実地調査 II ワンクリック体験アンケート・ヒアリング.....	17
当事者への調査.....	17
ご家族への調査.....	18
支援団体への調査.....	20

## 実地調査について

本年度は、実際のアプリ開発に先立ち必要となるヒアリング調査（草の根活動）を行った。具体的には認知症の当事者の方、そのご家族および支援団体への聞き取り調査・アンケート調査を行なっている。今回の調査は、地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の開発に伴い、認知症の当事者（ご家族含む）と認知症の当事者を支援する団体の双方にとって、使いやすいアプリ機能の調査と、①認知症の当事者がアプリをダウンロードできるのか、②アプリを使い続けられるのか、③支援団体がアプリダウンロードのサポートを出来ると思えるのかの意識調査を実施する目的で行なった。

以下、モックのヒアリングと新技術の体験後のアンケート結果を記載する。

## 全体としての結論

アプリダウンロードに関して、個人情報为非取得にすること、ID とパスワードの入力を必要としなくすることで、当事者、ご家族、支援団体ともに、アプリのダウンロードが出来る、手伝えるというイメージを持っていることが分かった。また、当事者に関して、若年性認知症の方々ではあったが、アプリのダウンロードはご自身で行なえている状況であった。さらに、個人情報を一切登録することなく「ワンクリック（IDとパスワード自動埋め込み型）」でグループ登録できる技術を体験した結果、アプリのダウンロードを手伝えるイメージを8割以上の方が持てることが分かった。登録時にメールアドレスで躓く可能性はあるが、横にサポートする人がいれば、出来ると思えますという意見を支援団体の方々からも頂いている。ただし、回答結果から、80歳以上の認知症の当事者に関しては、現状、ご家族と支援団体ともに、アプリダウンロードが出来るイメージを持っていない。

次に、アプリを使い続けられるかに関しては、当事者からは、地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）を「使用したい、試してみたい」という回答を得られたが、支援団体の回答では、「人による」、「一部機能なら」を含めて「当事者が使える」と回答してくれたのは7/22という結果になった。このことから、認知症の進行具合、年齢などにより、使い続けられるかは、実際にアプリを試してみないとどちらか判断できないと考えられる。日常使いとしてどう活用してもらうか、この地域共生支援アプリを使うメリットが伝わるかが課題としてであると推測される。

また、地域経支援アプリが、災害時エリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みを取り入れることが出来れば、需要がある（ご本人・ご家族・支援団体共に、トップ2ボックスで93%以上）ことが分かった。

そのため、コロナ長期化を想定したマネタイズ獲得に向けて開発内容を修正することを検討。アプリ課金とアプリ寄付の仕組み基礎開発、自治体・企業から費用獲得に向けて、新技術を使ったグループ連携技術（2つ目の日本初新技術）と最小単位の地域支援の仕組み（既存技術を応用）を開発に追加（優先順位上位に変更）する方向で進める。

## ●実地調査 | モックに対するヒアリング

モックに対するヒアリング調査は、[1-1]認知症の当事者がアプリをダウンロードできるのか、[1-2]アプリを使い続けられるのか、[1-3]支援団体がアプリダウンロードのサポートを出来ると思えるのかの意識調査と、[2]地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の開発に伴い、認知症の当事者（ご家族含む）と認知症の当事者を支援する団体の双方にとって、使いやすいアプリ機能であるかの調査を実施する目的で行なった。

以下、それぞれのヒアリング対象者毎のまとめである。

### 当事者への調査

実施日時	2020年10月16日、2020年10月17日
対象者	Sさん（ご家族と同居）、Hさん（ご家族と同居）
調査員	高原達也、岩田遥、塩澤卓巳
<p><b>【調査まとめ】</b></p> <p>[1-1] 認知症の当事者がアプリをダウンロードできるのかに対する結果：若年性認知症の方々へのインタビューであったが、アプリのダウンロードはご自身で行なっている状況であった。ただし、アプリダウンロード時にID・PASSが求められ、いつも使用しているID・PASSが登録できない場合は、ダウンロードを諦める傾向にある。また諦めなかったとしても、個人情報の入力を面倒と感じた場合はダウンロードをしても後回しにして使わなくなる。</p> <p>[1-2] アプリを使い続けられるのかに対する結果：個人情報が非取得でID・PASSを入力する必要がない場合、使用したい、試してみたいという傾向にある。</p> <p>[2] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の開発に伴い、認知症の当事者（ご家族含む）と認知症の当事者を支援する団体の双方にとって、使いやすいアプリ機能の調査に対する結果：情報配信、カレンダー、日記機能の評価が高い。</p>	

### 詳細：

設問1	アプリをダウンロードした経験はありますか？ある場合、それは1人ですか？それとも誰かに手伝ってもらいましたか？
Sさん	ダウンロードした経験はある。1人で出来た。
Hさん	はい、自分でいっぱいアプリ入れてる。でも、使ってるのは少数。地域のお店のポイントがあると(アプリを)入れちゃう。だから、どんどんアプリが増えてる。
設問2	ダウンロードする際にどんな苦労がありましたか？また、アプリダウンロードする際に、諦めた経験はありますか？もしあるとしたら、それはどんな理由からですか？
Sさん	いつも使っている同じパスワードが使えないと諦める。(例えば、大文字や数字を絡めないといけないなど。)それと、課金の時は諦める。無料として入ったけれど、期間を過ぎると有料になる、みたいなものもあって安易にダウンロードできない。

H さん	諦めるのはあまりない。ただし、有料だと諦める。それ以外はない。個人情報の入力には面倒で、そういうアプリはダウンロードしたけど後回しにして使わなくなる。
設問 3	個人情報の入力することなくアプリを使用できるとしたら、使ってみたいですか？
S さん	はい。
H さん	それは良いと思う。 個人情報を入力することはめんどくさい時がある。せっかくダウンロードしたのに、後にしようとなる。
設問 4	ID と PW を入力する必要がなく、また、ID と PW を忘れても良い機能があったら、安心して使えると思いますか？
S さん	助かります。ID とパスワードが分からなくなるのは、しょっちゅうある。
H さん	ぜひ使ってみたいし、体験してみたい。
設問 5	ご説明した追加機能を使いたいと思いますか？
S さん	掲示板機能は、見やすいと思う。カレンダー機能は、ありがたい。ありがとうメッセージは、良いですね。
H さん	便利は便利だと思う。ここに(アプリに)見に来たら、欲しい情報があるから。それに、予定のアラートが立つのは便利だと思う。ぜひ使ってみたい。
設問 6	ご説明した追加機能があったらどんな風に活用したい、またはどんな風に活用できると思いますか？
H さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示板：エリア掲示板は、送られてくる情報量にもよる。自分が必要な情報に、簡単に出会えることが嬉しい。必要な情報がないと、使いにくさを感じる。行政から、検診のお知らせなどタイムリーに出ると良い。</li> <li>エリア掲示板の発信カテゴリ（イベント、スポーツ、など）を色別で表示できないか？パッと見たときに判断できると良い。団体登録の時に、アイコン + カテゴリ設定。</li> <li>・ カレンダー：今使っているカレンダーと同期ができないと二度手間。</li> <li>アカウントでスケジュールの種類を分けてる（仕事、プライベートなど）、どれくらい他のサービスと同期ができるかで利便性が変わる。リマインダーは 1-2 回くらいで良い。メモ機能がいい。スケジュールほど重くないものをパッといれられる。</li> <li>・ メモリー：アップした情報の保存先は？デバイスだと容量がいっぱいになってしまうのでは。</li> <li>タイトルはテキスト、内容は音声 + 画像・動画、が良いかも。</li> <li>1 日複数の投稿、1 回複数の写真→容量問題があるが、それでもやりたい人は課金でも良いのでは？選択できるといい。</li> </ul>
設問 7	ご説明した追加機能があったらダウンロードしたい、使いたいと思いますか？
S さん	はい。特に日記は使いたい。
H さん	使いたいと思う。商店街のお店にとってはすごく良いし、地域に住んでいる人が足を運ぶきっかけを作れる。地域の人のためになると思う。
設問 8	ご説明した追加機能に似たようなアプリを今使っていますか？もしお使いの場合、そのアプリは何ですか？
S さん	LINE、Instagram、メッセージ
H さん	LINE、Google カレンダー、Facebook、Yahoo!ニュース

ご家族への調査

実施日時	2020年10月17日、11月23日、11月29日
対象者	Hさん（インタビュー時は認知症の当事者の母親（80代）と同居）、Tさん（認知症の当事者の母親（80代）とは別居）、Sさん（認知症の当事者の母親（80代）と同居）
調査員	高原達也、岩田遙、塩澤卓巳
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1-1] 認知症の当事者がアプリをダウンロードできるのかに対する結果：80歳以上の認知症の当事者がアプリダウンロードが出来るイメージを持っていない。</p> <p>[1-2] アプリを使い続けられるのかに対する結果：上記と同じ理由から使い続けることが出来ないイメージを持っている。</p> <p>[2] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の開発に伴い、認知症の当事者（ご家族含む）と認知症の当事者を支援する団体の双方にとって、使いやすいアプリ機能の調査に対する結果：カレンダー、メモリー機能の評価が高い。ご自身でイベントを開催されたりしているため、アンケート機能も高評価だった。また、機能とは別に、アプリ内でのご家族同士のコミュニティに関して、高い関心を示した。</p>	

詳細：

設問1	アプリをダウンロードした経験はありますか？ある場合、それは1人ですか？それとも誰かに手伝ってもらいましたか？
Hさん	はい、あります。自分でダウンロードしています。
Tさん	はい、あります。自分でしています。母はありません。
Sさん	はい、あります。親は二人ともスマホを持ったことがありません。携帯電話は持っていますが、（母は）認知症発症後、その携帯がどこにあるのか分からない状態です。
設問2	ダウンロードする際にどんな苦労がありましたか？また、アプリダウンロードする際に、諦めた経験はありますか？もしあるとしたら、それはどんな理由からですか？
Hさん	それはない。自分が絶対取りたいアプリはダウンロードする。個人情報たくさん入力したり途中でやる気がなくなったりはする。あと、課金になるものは途中でやめる。
Tさん	特にありません。
Sさん	情報の入力が面倒臭くて、諦めた経験があります。
設問3	ご家族の視点から、認知症の当事者の方が、このアプリをダウンロードできると思いますか？
Hさん	（うちの母親は80代でスマホを持っていないので）無理だと思います。
Tさん	スマホやタブレットは持っていません。
Sさん	母はスマホを持っておりません。
設問4	ご家族の視点から、認知症の当事者の方が、このアプリを使うことができると思いますか？
Hさん	（うちの母親は80代でスマホを持っていないので）無理だと思います。

Tさん	本人だけではできないと思います。一緒にHさんとLINEでテレビ電話をしたことがあります。一緒ならできるかもしれませんね。
Sさん	母はスマホを持っておりません。
設問5	個人情報の入力することなくアプリを使用できるとしたら、使ってみたいですか？
Hさん	はい。
Tさん	はい。
Sさん	はい、使ってみたいです。情報の入力は本当に面倒臭いので。
設問6	IDとPWを入力する必要がなく、また、IDとPWを忘れても良い機能があったら、安心して使えると思いますか？
Hさん	パスワードが分からなくなることが良くある。だから助かる。ただ、とても便利だなと思うんですが、知識がないのでセキュリティ大丈夫かなと思う。良く分からないので、セキュリティが万全であるという説明があれば。
Tさん	はい、そう思います。IDとPWは私も忘れてしまうことが、良くありますから。自分のためにも助かります。
Sさん	あります。パスワードを良く忘れてしまいますから。また、(アカウントを)登録する時に、苦手意識が先行してしまいます。IDとパスワードを入力する必要がないなら、安心して使えます。
設問7	ご家族同士のコミュニティをつくるのですが、使ってみたいと思いますか？
Hさん	はい。
Tさん	使ってみたい。協力できることがあればぜひ言ってください。
Sさん	日々、母からストレスがあるので、叫びたくなる・弱音を吐きたくなる時に、発散してそこから冷静になれる場所があると良いと思います。自分の感情のコントロールの仕方、認知症の方とのコミュニケーション方法などは聞きたいですし、お話しをしたいし、気持ちをぶちまけたいです。実の親子なので言いたいことを言ってしまいます。母の現状をお伝えすると、言葉が出にくくなってきた頃から、手が出てくるようになってきました。こちらにゆとりがあると良いのですが、ゆとりがないと私も手をあげてしまうこともあります。「これって虐待じゃないか？」自分が自分にゾッとしてしまいます。また、本音をぶちまけると、すごいひどい言葉になってしまいます。ですが、それを吐き出したいという気持ちもあるのが現状です。その本音をぶちまけたいけど、ぶちまけられないという間にいるのがきついです。怒りが冷めると冷静になれるので、その機会が欲しいです。「私だけじゃない」と思える瞬間があるのは救われます。
設問8	ご説明した追加機能はご本人の生活のサポートになると思いますか？
Hさん	(うちの母親は80代でスマホを持っていないので)無理だと思います。
Tさん	母はスマホを持っていないので。
Sさん	スマホをお持ちでないので、この質問はせず。
設問9	ご説明した追加機能はご家族のサポートになると思いますか？
Hさん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：アンケート機能は便利。今は手動なのでとても助かる。</li> <li>・トーク：若い子はLINEを使っていないみたい。</li> <li>・カレンダー：現在は紙で管理している。</li> <li>・メモリー：ブログはあるけど、日記のアプリがない。母親の行動を記録していきたい。公開するか、公</li> </ul>

	開しないか選べるのも使いやすい。自分の中だけにとどめておける、人には言いたくないことが吐き出せるから。今ある別のサービスはメモと日記が分かれているので、使ってみたい。未来へのメッセージ設定はいい、人はいつ何時どうなるかわからないので、子どもに使いたい。声が残るのは、すごく良い。母が亡くなった後やしんどい時にその声が聞けたら頑張れる。
Tさん	<p>&lt;掲示板&gt;</p> <p>認知症の本人が参加できるイベントの情報が欲しい！ので、掲示板機能は良いと思います。母がMCIと診断されたばかりの頃は（情報がなくて）不安だった。</p> <p>&lt;テレビ・チャット&gt;</p> <p>Hさんと母がテレビ電話をして、「まるで会って話ししているみたいだなあ」と言う感想。ロボットを使った「まあいいかカフェ」では父に怯えるよりも、誰かと話して、父も楽になる。母の方が見えそう。</p> <p>&lt;カレンダー&gt;</p> <p>以前使っていたが、今は使っていない。これは簡単で可愛い！（アイコンの絵が可愛い）Lカテゴリ（仕事・病院など）・AM/PM（字が可愛い）。自分のスケジュールを管理することに使いたい。</p> <p>&lt;メモリー&gt;</p> <p>父（82）は日記をつけているが、母は、面倒臭がりなのでつけない。新しいことをやるのが、とにかく苦手な病気。「新しいことができない」ことで、自信をなくしてしまうんです。 デイサービス・B5の用紙で「何食べたん？」は禁句、、、でも、何食べたかは知りたい。</p> <p>&lt;メッセージカード&gt;</p> <p>可愛いからやるかもしれない！ 母も女子だから、可愛いものに興味がある！</p>
Sさん	最初のとっかかりが分からない、どこに相談したら良いのか・・・その情報があれば。ただ、家族内でなんとかしようとしてしまうから、情報を探しには行かないんです。
設問 10	ご説明した追加機能があったら、アプリをダウンロードしたい、使ってみたいと思いますか？
Hさん	はい。アンケートは全部紙…だから、これ(アプリ)はすごく良いなと思う。あと、スケジュールはノートに書いてる。買い物リストとかは、それはすごく良いですね。みんなの予定がすぐに合わせられるのも良いですね。メッセージカード機能も、写真入れて、その上に文章書けたら良いですね。言葉で残ったら良いなあって思う。
Tさん	(時間がなく、この質問は出来ず)
Sさん	当事者の家族と繋がれる場があるなら、アプリを使ってみたい。
設問 11	ご説明した追加機能に似たようなアプリを今使っていますか？そのアプリは何ですか？
Hさん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーク：Facebook メッセンジャー、LINE</li> <li>・メモリー：10年日記</li> </ul>
Tさん	新聞、Yahoo!ニュースは見る
Sさん	LINE、ブラウザ、天気を見る、Yahoo!ニュース



支援団体への調査

実施日時	2020年10月16日から2020年11月5日
対象者	●認知症支援団体 Sさま、Kさま、●認知症支援団体 Kさま、●認知症支援団体 Wさま、●介護事業所 Kさま、●介護事業所 Fさま、●行政関係者 Nさま、●行政関係者 Kさま、Mさま、●商店会関係者 Hさま、Tさま、●認知症支援団体 Tさま、●行政関係者 Kさま、●認知症支援団体 Yさま、Wさま、●宗教法人 Oさま、Tさま、Kさま、●認知症支援団体 Kさま、Sさま、Tさま、Kさま
調査員	高原達也、岩田遙、塩澤卓巳
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1-1] 認知症の当事者がアプリをダウンロードできるのかに対する結果：ご本人が出来るという回答は 13/22 と半数程度だったが、例えば本人が出来なくても、ダウンロードを手伝ってもらえる、手伝えるという回答は全員から得られた。</p> <p>[1-2] アプリを使い続けられるのかに対する結果：「人による」、「一部機能なら」を含めて「使える」と回答をしてくれたのは 7/22 という結果になった。“当事者の方は出来ないと思う”という回答は 2 人だった。“もし、お薬飲んだかこのアプリでチェックできるなら、毎日、スマホ触るので、使い続けるのでは。”など、日常使用の可能性が見られた。</p> <p>[1-3] 支援団体がアプリダウンロードのサポートを出来ると思えるのかに対する結果：全ての対象者が、アプリダウンロードのサポートに対して肯定的な回答をした。</p> <p>[2] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の開発に伴い、認知症の当事者（ご家族含む）と認知症の当事者を支援する団体の双方にとって、使いやすいアプリ機能の調査に対する結果：掲示板、カレンダー、メモリー機能に対しては、高評価だった。トーク機能（テレビ電話機能含む）に S しては、“逆にこういう機能が無い方が良いという話題が出てきそう。子ども（未成年）が使う場合、個人情報がないので何かに巻き込まれるのでは？（実際は個人情報のトーク機能は個人情報の登録が必要のため、リスクは低い）”など、マイナスのイメージを持たれるケースの回答や特に反応を示さないケースが見られた。</p>	

詳細：

設問 1	支援者の視点から、認知症の当事者の方が、このアプリをダウンロードできると思いますか？また、もしダウンロードできない場合には、サポートしてあげられると思いますか？
Sさま Kさま	<p>最近スマホは持ってLINEはやってる。子供さんたちが手伝ってダウンロードしてくれているようだ。だから、こういう風な便利なアプリがあるからって言ったら、ダウンロードしてくれると思う。それと、介護サービスを受けていると、ケアマネさんから教えてもらう機会になる。</p> <p>ここ2-3年でスマホ普及が進んでいる感覚はある。健康広場に来ていた70-80代の方は、ほとんどスマホを持っていて、LINEを使っていた。スマホ保有率は調べたことないが、10人中1,2人がガラケーで、残りはスマホ(京都支部、滋賀支部では)。ただ地方エリア(新潟など)は持っていない割合が少し多い感じがする。アプリをダウンロードするをもっとわかりやすい言葉で伝えると良いと思う。</p>

Kさま	個人情報を入れる手間暇を考えると、一発で入れるというのは、認知症に限らず、まさにバリアフリーというユニバーサルデザインの最たるものだと思う。認知症に特化したアプリだと狭くなってしまうので、誰でも使えるもので入口は広くってところは異論はないし、入り口としてはこれで全く問題ないと思います。アプリダウンロードをさせて頂くことも問題なくできると思います。
Wさま	当事者の方ではできないが、協力者がいればできる。それが地域で助け合える形があればいい。(例えば近所の高校生が教えてくれるなど)
Kさま	できると思います。また、気軽に勧められるし、手伝えるし、手伝います。たくさんの方がダウンロードしてくれたら、良いですね。
Fさま	「要支援」であれば使える。要介護1でもスマホを使っている方もいる。高齢者でも持っている人がいる。 要支援・要介護には必ずケアマネがついているので、ケアマネの協力があると良い。また、受信した時に、病院で看護師さんにサポートしてもらってアプリを入れるのもあり。
Nさま	ダウンロードは本人が出来なくてもサポートがいれば出来ると思う。サポートは出来ると思う。
Kさま Mさま	出来るんじゃないかなと思います。ダウンロードは手伝えます。
Hさま Tさま	出来ると思います。
Tさま	認知症の方を十把一絡げに出来ないと思うし、時代は変わってきたから出来るかもしれませんね。
Kさま	10/18のかくれんぼ訓練企画を実施した際、高齢者の方もスマホを持っていることが分かった。スマホが浸透しているように思うので、70代以下、MCIの人だったら。今はスマホに抵抗ないから、奈良市で展開している歩数計のアプリを紹介したら「ダウンロードして」と言われた。みまもりあいアプリは、ダウンロードの際に個人情報に触れないので手伝ってあげられます。またこういうアプリがあるよってお勧めできます。
Yさま Mさま	60代、70代ならダウンロード出来ると思う、今はスマホ持っているから。自分たちもできるが、職能団体がこのアプリいいねと行動してくれたら、みんなサポートしてくれる。在宅のケアマネや協会から手伝ってほしいと連絡が来たら、サポートできる。
Oさま Tさま Kさま	そんなに難しくないから、お手伝いできると思います。サポートマニュアルがあれば、助かります。
Kさま Sさま Tさま Kさま	・サポート出来ます。 ・サポートはできる、みんなでダウンロードするのは出来るって思ってます。 ・本人が使いたいと思いたいきっかけを作るのが大切。むしろ、サポートしない人いるんですか？ ・そんなに難しくなければ、サポートできる。MCIや当事者がダウンロードするのは難しいと思う。
設問2	支援者の視点から、認知症の当事者の方が、このアプリを使うことができるとは思いますか？
Sさま Kさま	(アプリを操作するのに)普段使われている言葉じゃないと厳しい。でも、1つくらいはこのアプリ独特のものを作れると良いね。 かわいいのは使いやすくていい。文字より絵や画像で表示するとわかりやすい。絵で見せるのは良いね。

Kさま	はい。
Wさま	当事者の方ではできないと思う。
Kさま	人によるけど、使える人はいると思う。
Fさま	デイサービスや病院の予定を入れるのを周りが予定を入れると、リマインドがあってメリットが大きく、使える。
Nさま	分からない。それを調べてほしい。
Kさま Mさま	一部の機能を使うことは可能だと思います。
Hさま Tさま	分かりません。
Tさま	そこを調べたいです。
Kさま	MCIの人なら。もし、お薬飲んだかこのアプリでチェックできるなら、毎日、スマホ触るので、使い続けるのでは。
Yさま Mさま	MCI や 70 代は手帳代わりに使い続けられる。また、支援者がアプリを使うことで、当事者が何度も繰り返し聞いてくる内容に S して、視覚化できるので、使い続けると思う。認知症が進行した場合、当事者は使うのは難しいけど、支援者がこのアプリをどう使えるかが大切になる。支援者側がメリットが分かりやすく、また共有できれば、使い続けられる。
Oさま Tさま Kさま	お寺には後期高齢者しか来ず、皆さんガラケーなので、難しいかなと思います。
Kさま Sさま Tさま Kさま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身も使いきれるか・・・</li> <li>・本人は新しいことは難しいと思うけど、家族が慣れ親しんで使い続けたら、使うことができると思う</li> <li>・本人が使いたい意欲がわいてくるのが大事</li> <li>・MCI や当事者が使うのは難しい。</li> </ul>
設問3	<p>ご説明した、以下の追加機能は使ってみたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板</li> <li>・トーク</li> <li>・カレンダー</li> <li>・メモリー</li> </ul>

<p>Sさま Kさま</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：使えるイメージはある。アンケートができるのは助かる。団体からの発信と、声を集めるアンケートで、双方向のやりとりが今後必要を感じる。</li> <li>今回コロナ禍で団体連携をして、4つのwebサイトを使ってコロナ状況のヒアリングアンケートを実施した。結果：300人/20日 紙でやっていたらスピードも遅く、お金がかかっていたが、webアンケートは「今困っていること」をすぐに吸い上げて、社会に発信していくことができる。グループ配信する情報をシェアすることができるのは良い。新しい情報を得られるのは当事者のためになる。支部はエリア情報にS心が高い。会員ではない人に発信できる場を探している。</li> <li>・トーク：学生とのテレビ電話のマッチングは面白いなと思っていた。コラムを書いている、実際、書き手の人に連絡が取りたい！と問い合わせがあるが、今の規定では繋がらないようにしている。場に来てお互い直接つながる分には問題ない。発信したい人（エネルギーがある人）には合っていると思う。ただ、大学との連携の時、「研究目的」というのはわかるが気持ちの配慮もなくズカズカ質問をされる。それは危険に思う。</li> <li>・カレンダー：何度もクリックしなくてはならない、というのは難しい、使いやすさが肝。MCIの方々のカバーになると思う。1人暮らしが増えてくるので、家族が予定をいれてあげることができるよ。</li> <li>ヘルパーが行っても家にいない！ということがあるので、リマインド機能は良い。ヘルパーが予定を入れてあげることができるのも良いかもしれないが、ヘルパー側の負担が大きくなる。</li> <li>・メモリー：打つのがめんどくさいから音声はよい。介護者と支援者が共有できるとよい。離れた家族が見えるのは良い。ヘルパーさんの前だからこそそのリラックスした様子を共有できるのは、S係者の発見に繋がる。</li> <li>・メッセージカード：「ありがとう」を伝えられてよかった経験がある、S係性を良くするメッセージ機能は良い。支援者の心の支えにもなる。</li> </ul>
<p>Kさま</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：アプリを登録された当事者・家族（その予備群）とお互いに顔を合わせる前から繋がることのできるのが良いと思います。</li> <li>・トーク：通信の容量が気になる。テレビ電話にSしては、福祉系大学のと連携する際に協力して頂く学生さんに一定のレクチャーは必要になってくると思う。認知症に特化して話し相手、聞き役になるためのプログラムも併せて開発していくと、若い人から認知症を理解する、学生さんが失礼とか上手くないとかじゃなくて、そもそも発想を変えて、どうしたらうまくいくのか、それが1つのプログラムになって行けば。家族の会さんが福祉系の大学に体験談を話しに行ったり、それをこのマッチングアプリでやるのはいいと思う。</li> <li>・カレンダー：これ便利ですね。これホームヘルパーとかでも使えますね。これ凄いなあ。劇的に仕事が楽になる。地域住民ごとの支えあい活動もがぜん使える。認知症の人のためにアラームもあるのが便利ですね。若年性認知症の方もスマホで全部日程調整してる。これは大事な機能だと思います。</li> <li>・メモリー：ありだと思いますね。音声残したり、日記残したり、普段使いの楽しみっていうのが常にこのアプリを気にして、のぞいたり触ったりすることになって行くでしょうから。やっぱりダウンロードしたものの、あと一切触らない、見ないっていうのも起きてくると思うので、普段使いでこういうのが使えると良いと思う。日記をサポートしてくださっているボランティアさんとか家族の方とか、認知症のご本人同士、ご家族同士で共有できるのも良いし、これ安否確認にもなりますね。TwitterやFacebookはハー</li> </ul>

	<p>ドル高いけど、この簡単なアプリでやれたらいいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージカード：これも良いと思います。メッセージカードの絵や素材を、自分で書いたもの（自分が使ったメッセージカードのベース）が使えると良いなと思います。作品を発表する機会にもなったら良いですね。</li> </ul>
Wさま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：最初は簡単なアンケートから作成し、作成に慣れることが必要。アンケートを取りたいが取り方がわからない、そのアドバイスがあったりサポートがあると使いやすい。</li> </ul> <p>自分がチェックをつけた情報を基本みて、時々地域情報を見て、は良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーク：小さい団体はLINEやZoomを使っている。</li> <li>・カレンダー：内容は良いと思う。誰かが使って誰かが使わない、ではなく、全員が使ってもらえるとラク。メモがプッシュ通知が来るのは使える。高齢者の独居の方には、何か追加があったら家族に通知がくるといい。ご家族の方は安心しそう。</li> <li>・メモリー：使う人は使うと思う。喋った音声が残るのはいい。「声」で残っているのは良い。亡くなった時など遺族が思い起こすことができる。また子どもが小さい時にその声を録音しておいて数年後聞ける、みたいなことをしてみたい。子どもの声を残すと、虐待防止や自殺防止にも繋がりそう。家族の「声」は誰もが残しておきたいと思う。症状によって、文字が読めない、声が聞けない、というがあるので、文字・写真・映像・音声と選べるのは良い。</li> </ul>
Kさま	<p>はい。機能としてはすごく良いし、すごく助かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：施設は地域の身近なお困りごとをキャッチするところが求められている。色々な人をつなぐ役割がある。</li> <li>●アンケート：(子ども食堂の)メニュー等の満足度を知りたい。また、地域の高齢者向けにボランティア情報を発信したい。もっと活動してもらいたいから。それと、活動できる内容、働く時間、内容をアンケートで知りたい。なぜなら、結果を行政に届けて、補助金、助成金がもらえれば。</li> <li>・トーク：LINE、Facebookを使っている。写真送るのがやりやすい。施設なので、職員同士のSNSは使っていない。リモートワークはしなかった。</li> <li>・カレンダー：あったら便利だと思う。今は、勤務表見て、会議の日程を決めている。デイサービスで日程を自動で教えるのは便利だし労力が減ると思う。</li> <li>・メモリー：デイサービスの1日の報告書に変えられないかな？支援計画が出来て、それがケアマネとデイサービスと連携できると良い。</li> </ul>
Fさま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板：ケアマネは勉強会がたくさん実施されるから、勉強会イベント（勉強会は毎週1-2回くらい。オンライン、オフライン両方ある。）が発信できたり、受け取れたり、参加申し込みができたり、終了後にアンケートが取れたり良い。</li> <li>・トーク：明石市ではLINE WORKSを使っているが、地域によって異なる。ただ、仕事のアプリはスマホにいたくない、仕事用のスマホが1人1台ないため、PCで情報をチェックする必要があるから。1人1アカウント持っていないと、新着情報がキャッチできない・どれが新着情報なのかわからないと思う。</li> <li>・カレンダー：現在、ご家族への共有は電話している。</li> <li>・メモリー：LINE WORKSに支援経過（報告書、入院報告書、死亡報告書など）のテンプレートがあ</li> </ul>

	<p>り、作成が楽。支援経過の作成と、情報共有（ご家族間、ケアマネ間）が簡単にできるようになりそうな印象を持つ。</p> <p>※パスワードを毎回入れてログインするのはめんどくさい。</p>
Nさま	<p>・掲示板：それぞれの団体の窓口はあるが、団体ごとではなく属性で配信できるのか？（個人情報を取得していないので属性で区切れないのか？）当事者同士が横でどう繋がるのか？のイメージがつかない。アンケート機能は使いたい。</p> <p>・カレンダー：Google カレンダーが良い。</p> <p>※色んな人の意見があると複雑にならないか？複雑だと面倒くさくなる。</p>
Kさま Mさま	<p>・掲示板：地域の場合、福祉活動の情報・広報の情報を配信できる。そこに住んでいる地域住民と地域の活動者が繋がる場になるようにイメージできる。自治体としてはある一定の属性に送りたいという需要があると思う。（属性例：「1人親家庭」）</p> <p>アンケートは、Web でアンケートをしたことがないので、イメージがつかないが、ただ認知症カフェがまだ再会できてないけど、ニーズが確認出来たら、聞けたら良いなと思う。可能性としてはすごく広がっていく。</p> <p>・トーク：逆にこういう機能が無い方が良いという話題が出てきそう。子ども（未成年）が使う場合、個人情報が無いので何かに巻き込まれるのでは？個人情報を登録しないから、子どもも使ってしまうし、子ども同士でアプリを使うことを親が気にするかも。一定の目的がある中で、これをやっていくのはすごく良いこと。自由度が高いのは良いことだけど、管理のところで心配。テレビ電話機能で、しょっちゅうかけてくる人がいたら、どうしよう。ある一定の距離を取りたい。チャットをできるできないの選択ができるのであれば良い。</p> <p>・カレンダー：リマインダーはすごい良いんじゃないかなと思う。どれくらい活用できるかは分からないけど。お薬、ごみ捨て、今伝えたいことを伝えられるので期待を感じた。</p> <p>・メモリー：認知症カフェなどサロンを主宰している人が、メッセージを届けたり、欠席の方に簡単にやりとりできるという印象がある。見守りをする人と見守りをされる人だが、人と人との交流、支えあいでの魅力的だと思っている。全体的に地域のS心を高めるアプリだと感じる。期待している。</p>
Hさま Tさま	<p>掲示板：生活の中で避けることができない、社会的な課題（防災、福祉、SDGS とか）を繋がりベースとして地域の価値を高め、住人の質や量を増やすことで、地域が潤う（いろんな意味で）ようにしていくことで、商店街にも還元されると考えます。</p> <p>カレンダー：これは便利ですね。</p>
Tさま	<p>掲示板：RUN 伴とつながっている人たちのハブになるのが良いかな。実行委員が紙面で連絡しているのをアプリでやれたら良いかもね。アンケートは、メンバー個人の意識は分からないので、それが聞けるのは良いと思います。地域のハブとしても使えるし、本部の連絡網としてもとっても使える。あまりちゃんとしたコミュニケーション手段がないので、このアプリでやりましょうって言いますね。今までは各県の自主性に任せていたけど地域の情報をこのアプリでまとめて行きます。</p> <p>メモリー：ほっこりしますね。</p>

Kさま	<p>●掲示板：実際に、「いいやん、使ってみたいな」という人がある。例えば、グループ掲示板なら、体操教室（いきいき体操）ではビデオを見ながら5人くらい集まることが流行っている、それのお休みなどの連絡に使えたら。社会福祉協議会からは食事プロジェクトが走っている、地域で子ども食堂、高齢者のサロン（食事作り）で献立作るのに困るから、今日の献立を地域に発信できれば。ボランティアや、サークルにみまもり情報も発信できれば。職員連携で思うのは、地域のケアマネさんと連携を取るのも、消費者被害情報を配信したり、ファイルのやりとり（包括支援センターで、今は個人情報の管理が厳しい、地域の専門職同士で個人情報の書類を手渡しで行なっている、ファックス禁止、メールも誤送信があるので禁止、LINEはセキュリティ上NG、特定の人だけに届けるのをやりたい）で使用したい。また、研修会の申し込みで使いたい（未だにファックスだから）。</p> <p>●アンケート：介護予防のイベント、研修会をした際になど、講座をした時にアンケートを実施する。地域資源の開発で、灯油の配達で困っているという声を聴いている。なので、これを全体に投げかけると、地域資源の開発に使えるのかもしれない。今は「灯油の配達に困っている」という声を聞くが、それが全体のどれくらいかわからないので業者に話が持っていけない。</p> <p>●トーク：少しずつzoomが浸透してきて、研修に使ったりしている。専門職同士で話すのは使えるかな、高齢者と話すのはまだ見えない感じがする。高齢者の訪問が一番多いが、向こうがなかなか使えない。高齢者は訪問が原則になる。高齢者の遠くにいる家族が心配して相談をくれるから、その時に紹介に来て、顔見ながら介護保険の画面を見せながら（配食弁当など）話せると良いかな。電話でメールアドレスを伝えるのは大変。</p> <p>●カレンダー：調整はほぼ電話でしている。S係者も電話でしている。法人内は、ガルーン？を使っている。カレンダーはそれぞれ違うアプリを使っているのも、統一が難しい。もし高齢者が使うことを想定するなら、お薬カレンダーでちゃんと飲んでるのが分かる機能があると、家族さんが安心すると思う。高齢者は薬の飲み忘れが多く、家族もそれを把握できてない。お薬飲んだら、チェックを付けたら、家族のカレンダーに反映されるようにしてほしい。（付箋機能で出来るようにする）プッシュ通知がしっかり届く。毎日飲めてるかをゲーム性（10回飲んだら東海道五十三次のどこまで行けたみたい）でやれたら、毎日スマホを使ってくれるのでは？調整さんは広告がついているので浸透していない。</p> <p>●メモリー：お孫さんの声が聞こえると喜ぶから良いと思う。日記は良く歩く人は使っている。認知症の人はノートや手帳にびっしり書いている。ありがとうメッセージは、サロン活動の中でのメンバー、サークル同士の友達同士で使うかもしれない。</p>
Yさま Mさま	<p>●掲示板：コラムが出来たら、YouTubeとつなぎたい。エリアで配信できるのは凄いですね！一般市民にアンケート取れるのが、すごく良い！</p> <p>●トーク：携帯にこのアプリ1つ入れれば良いから、凄いらくちんですね。</p> <p>●カレンダー：MCIの人は何かの拍子に忘れちゃうから、これは凄いいい。リマインド（お知らせ）は無茶苦茶良い！家族の心の声として「予定を何度も聞かれるのが負担」というのがあるが、このアプリを見せれば良いので、良い距離感を保てる</p> <p>●メモリー：いいねボタンより、既読者数の方がいい。メッセージカードは、年賀状がいらなくなりますね。ガン末期の人には良いかも。未来の日付でメッセージを送れたら、子供は嬉しい。同窓会のタイムカプセルと一緒にですね。</p>

	このアプリを40代で入れたら、例えば大工の仕事をしていて認知症になっても、その人を知るツールになりますね。その人が好きなことややって来たことが分かるから、その話題をすると、すごく落ち着くからすごく良い。それに、その人の生き様が分かる。エンディングノートにもなる。自分を知ってもらえるツールになるし、認知症ケアが変わる！アプリ（のメモリー機能）で経過が分かると、支援者が本当に助かる。
Oさま Tさま Kさま	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掲示板：他力本願ドットネットと連携して、閲覧者をグルーピングしたい。モニターとか集めたい。この記事どうだったか？がアンケートで数値が取れたら面白い。</li> <li>●トーク：お参りに行く日にちの決めるときに、使えるのかも。当日に10分遅れますとか、ライトなやり取りが使える。（毎週土日、1ヶ月10～15件日程調整が発生するま）</li> <li>●カレンダー：法事の日を檀家さんと共有するのに使える。3回忌、5回忌、7回忌などお互いに予定を入れてリマインドが届くのが良い。イベントの予定日とか、ご家族の命日を確認できるといい。ご家族の誕生日も入れられると良いですね。</li> <li>●メモリー：背景デザインを変えたい。法事の方全員へありがとうメッセージを一括で送りたい。イベントのお礼状を一括で送りたい。</li> </ul>
Kさま Sさま Tさま Kさま	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掲示板：講義ではアンケートはあまり使わないけど、グループ内だと使える。アンケートがあるとやることを選択肢が広がるし、タイムリーにできるのが良い。</li> <li>●トーク：コメントなし</li> <li>●カレンダー：調整さんの機能みたいで使えますね</li> <li>●メモリー：使えるところがあると思います、支援者が経過を見るという視点では、すごく良い。メッセージカードは良いですね、何かセンターでも使えると思います。</li> </ul>
設問4	上記以外に利用イメージはありますか？あれば自由に記述ください。
Sさま Kさま	・掲示板：アンケートで質問 - 悩み、回答 - 対応を投げると、コミュニケーションが取れる仕組み
Kさま	メッセージ：メッセージカードのテンプレートを自分で作れて、その作品が誰でも使える。メッセージカードデザインのオープンソース化
Wさま	・掲示板：アンケートの雛形（アンケートの素人でも、作成でき、提言書として提出できるものに仕上がる）、データバンクとしての機能
Kさま	グループ通話機能はありますか？
Fさま	無し
Nさま	京都府全体のどこにも属して来なかった認知症の人が集まれるグループが欲しい
Kさま Mさま	無し
Hさま Tさま	孤独死、介護の問題で使える。1日何度もくるお客さん、毎日同じ物を買っていくお客さん、いつも同じ時間に徘徊しているご老人、など、お客さんが年齢を重ねていくことをリアルに感じている。「何十年も同じ場所で毎日商売してるから、街や人の変化に目が行き届く」商店街のアナログな側面と、アプリのテクノロジーがかけ合わされば、より良いプロジェクトになるのでは？と可能性を感じました。
Tさま	使ってみないと分からないですね。



Kさま	無し。
Yさま Mさま	電気が切れた、水道が漏れたなど、ちょっとしたお困りごとに対応してくれる、電気屋さんや水道屋さんの情報が欲しい。→商工会とか市町村と紐づくとも良いかも。
Oさま Tさま Kさま	次世代とのリレーションが図れるといい。
Kさま Sさま Tさま Kさま	無し
設問5	追加機能に似たようなアプリを今使っていますか？そのアプリは何ですか？
Sさま Kさま	・メモリー：てんかんの発症した瞬間を撮って、かかりつけ医に共有するサービスがあるらしい。認知症も進行するので。患者さんのリアルな情報（動画）を共有することが今後進んでいくと思う。（言葉だけでは伝えきれない）
Kさま	Zoom、調整さん。
Wさま	LINE、Zoom、Facebook、調整さん。
Kさま	サイボーズ(で業務連絡しているが、使いきれていない)、Facebook、LINE を使っている。
Fさま	Facebook、LINE、LINE WORKS、Medical Care SATION(一時期使っていた、ID,PASS を入れるのが面倒で今は使っていない)
Nさま	Google カレンダー
Kさま Mさま	LINE,ホームページ、サイボーズ
Hさま Tさま	Facebook、メッセージ、LINE
Tさま	各実行委員に任せているので…
Kさま	法人内のガルーン
Yさま Mさま	LINE、Facebook、YouTube
Oさま Tさま Kさま	LINE
Kさま Sさま Tさま Kさま	LINE、Facebook

## ●実地調査Ⅱ ワンクリック体験アンケート・ヒアリング

認知症の人が個人情報的一切登録することなく「ワンクリック（IDとパスワード自動埋め込み型）」でグループ登録できる技術の体験ヒアリング調査は、[1]みまもりあいアプリを認知症の当事者やご家族に進めたいと思うか、[2] 個人情報非取得で、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、アプリのサポートを出来ると思うか、[3] 災害情報を配信できたり、共有しあえる仕組みに対して必要と思うかに対する意識調査を行なった。

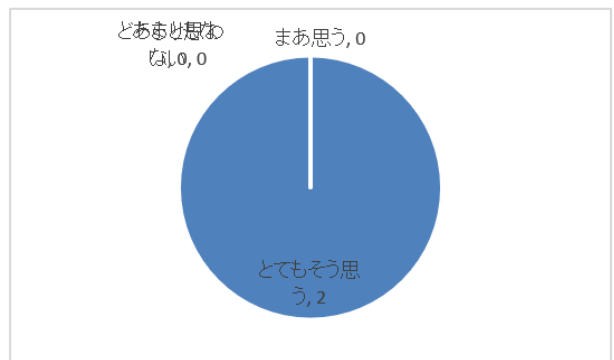
以下、それぞれの対象者毎のまとめである。

### 当事者への調査

実施日時	2021年1月12日、2021年2月4日
実施場所	Zoom
対象者	Sさん（ご家族と同居）、Hさん（ご家族と同居）
調査員	高原達也、岩田遥、塩澤卓巳
<p><b>【調査まとめ】</b></p> <p>[1]みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいかに対する結果：両名とも進めたいという回答を得られた。</p> <p>[2] 個人情報を取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者またはご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来るかの結果：両名とも十分にサポート出来るという回答を得られた。</p> <p>[3]日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対する必要性の確認についての結果：両名ともとても欲しいという回答を得られた。</p>	

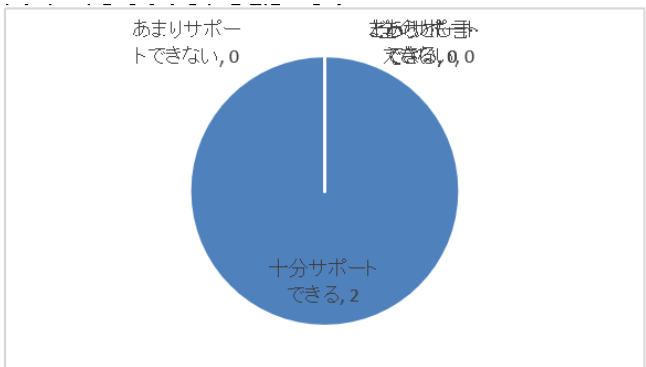
### 詳細：

設問1	みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思いますか？	
	人数	%
とてもそう思う	2	100%
まあ思う	0	0%
どちらともない	0	0%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	2	100%



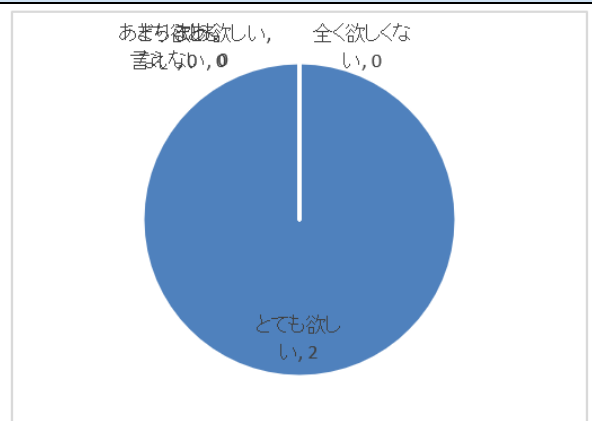
設問 2	個人情報を取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者またはご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来ると思いますか？
------	--

	人数	%
十分サポートできる	2	100%
まあサポートできる	0	0%
どちらとも言えない	0	0%
あまりサポートできない	0	0%
全くサポートできない	0	0%
無回答	0	0%
計	2	100%



設問 3	日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対して必要と思いますか？
------	--

	人数	%
とても欲しい	2	100%
まあ欲しい	0	0%
どちらとも言えない	0	0%
あまり欲しくない	0	0%
全く欲しくない	0	0%
無回答	0	0%
計	2	100%



※コメント：若年性認知症の当事者の目線だけれども、スマホを使っていたら、みまもりあいアプリを使うことが出来ると思う。しかも、URLで招待ができるなら、メッセージやインスタでアプリの紹介も出来ます。

#### ご家族への調査

実施日時	2020年12月26日、2021年1月12日、1月14日、1月15日
実施場所	zoom、LINE電話、ワークショップ
対象者	Hさん（インタビュー時は認知症の当事者の母親（80代）と同居）、Tさん（認知症の当事者の母親（80代）とは別居）、Sさん（認知症の当事者の母親（80代）と同居）、「認知症寄り合いサロン」ご家族5名
調査員	高原達也、岩田遙、塩澤卓巳
<p><b>【調査まとめ】</b></p> <p>[1]みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいかに対する結果：8名共に進めたいという回答を得られた。</p> <p>[2] 個人情報を取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者また</p>	

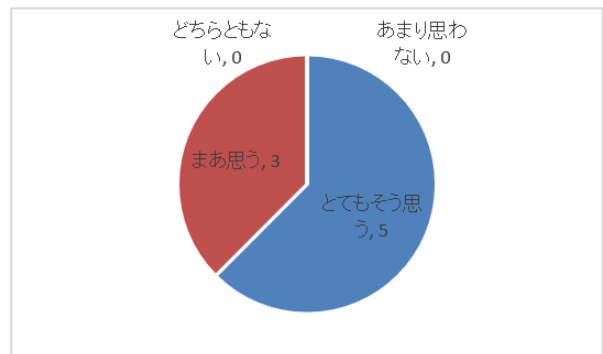
はご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来るかの結果：7名からはサポート出来ると回答を得られたが、1名からはあまりサポート出来ないという回答だった。

[3]日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対する必要性の確認についての結果：8名ともに欲しいという回答を得られた。

詳細：

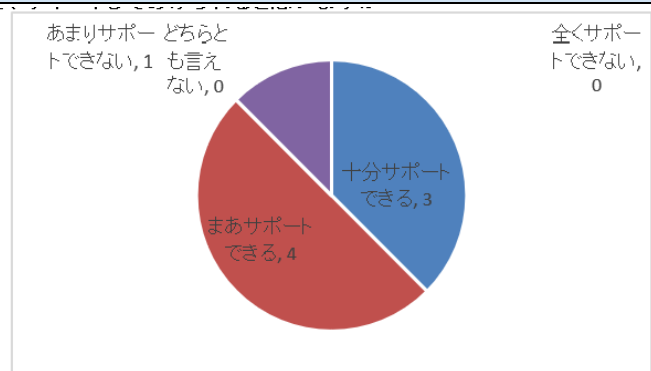
設問1 みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思いますか？

	人数	%
とてもそう思う	5	63%
まあ思う	3	38%
どちらともない	0	0%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	8	100%



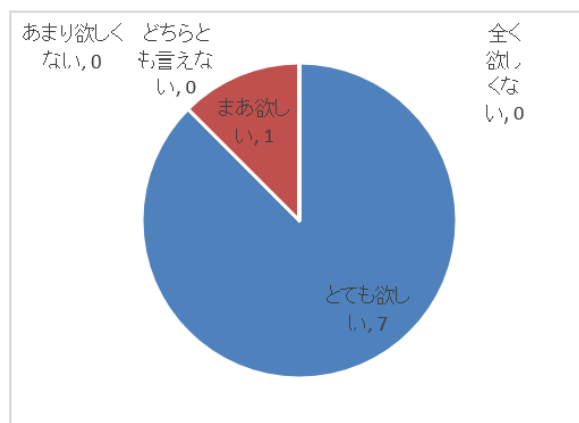
設問2 個人情報取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者またはご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来ると思いますか？

	人数	%
十分サポートできる	3	38%
まあサポートできる	4	50%
どちらとも言えない	0	0%
あまりサポートできない	1	13%
全くサポートできない	0	0%
無回答	0	0%
計	8	100%



設問3 日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対して必要と思いますか？

	人数	%
とても欲しい	7	88%
まあ欲しい	1	13%
どちらとも言えない	0	0%
あまり欲しくない	0	0%
全く欲しくない	0	0%
無回答	0	0%
計	8	100%



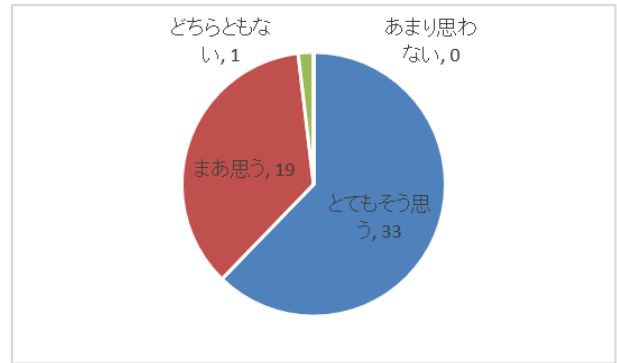
支援団体への調査

実施日時	2020年11月26日から2021年2月9日
実施場所	Zoom
対象者	●認知症支援団体、●認知症支援団体(設問2のみ)、●認知症支援団体、●大学、●地域包括支援センター、●ケアプランセンター、●青年会議所メンバー、●デイサービスセンター、●病院、●大学、●行政関係者、●病院、●行政関係者、●認知症支援団体、●大学
調査員	高原達也、岩田遥、塩澤卓巳
<p><b>【調査まとめ】</b></p> <p>[1]みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいかに対する結果：とてもそう思う、まあ思うという回答が90%であり、どちらともいえない、無回答はあったものの否定的な回答は無かった。</p> <p>[2] 個人情報取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者またはご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来るかの結果：サポート出来るという回答は82%だったが、2名からはあまりサポート出来ないという回答だった。</p> <p>[3]日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対する必要性の確認についての結果：欲しいという回答が93%でどちらともいえない、無回答はあったものの否定的な回答は無かった。</p>	

詳細：

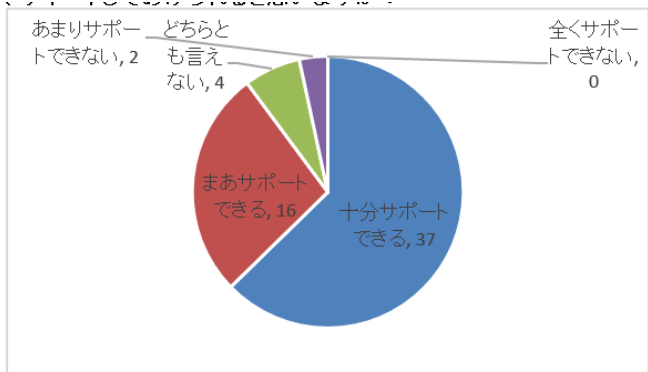
設問1	みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思いますか？
-----	------------------------------------

	人数	%
とてもそう思う	33	57%
まあ思う	19	33%
どちらともない	1	2%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	5	9%
計	58	100%



設問2 個人情報を取得せず、ワンクリックでグループに参加できる仕組みを体験してみて、もし、認知症の当事者またはご家族からみまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポート出来ると思いますか？

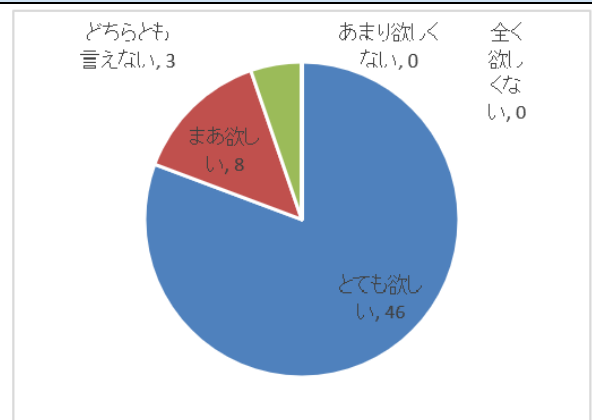
	人数	%
十分サポートできる	37	57%
まあサポートできる	16	25%
どちらとも言えない	4	6%
あまりサポートできない	2	3%
全くサポートできない	0	0%
無回答	6	9%
計	65	100%



※公益社団法人認知症の人と家族の会 京都支部世話人の方々の回答を含む

設問3 日常は情報共有、災害時はエリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信出来たり、共有し合える仕組みに対して必要と思いますか？

	人数	%
とても欲しい	46	79%
まあ欲しい	8	14%
どちらとも言えない	3	5%
あまり欲しくない	0	0%
全く欲しくない	0	0%
無回答	1	2%
計	58	100%



※コメント：ダウンロードの初期は躓くかもしれないけど、横に誰かついていたらサポートできると思うし、サポートできる。